

県民からの「信頼」を取り戻す

まっすぐ県民目線 63年ぶりの地元出身リーダーを

「現場主義」が政治の原点

皆さま、こんにちは。前金沢市長の山野ゆきよしです。
私は金沢市長としての11年余り、自分自身に課していた一つのルールがあります。それは、「誰よりも現場に近い市長であり続けること」です。
市長室で報告を待つのではなく、徹底的に地域へ足を運び、市民の皆様と膝を突き合わせ、その声を市政に反映させる。私の政治の原点は、常に「現場」にあります。時間と体力の許す限り現場を走り回ったあの日々と変わらぬ情熱で、石川県全体の未来のために汗をかく決意をいたしました。

石川で皆さまと共に生き、骨を埋める覚悟

私は石川で生まれ、石川で育ち、今も家族と共にここ石川で暮らしています。
皆さまと同じ空気を吸い、同じ場所で買い物し、同じ課題に悩み、同じ喜びを分かち合う。生活者としての感覚を共有しているからこそ、守れるものがあると信じています。
何があろうとも責任から逃げない。石川で家族とともに生き、骨を埋める。これこそが、地方政治家としての、責任であり覚悟だと思っています。

能登の被災地訪問、2年間で約200回

2024年1月1日、私は石川県内で家族とともに能登半島地震に遭いました。
当時、私は政治の職を離れ、民間企業(ソフトバンク)の一員として働いていました。
震災直後から、会社のネットワークと自らの足を使って被災地へ駆けつけ、通信インフラの復旧や温水シャワーの提供等の支援に奔走してきました。
震災から2年間で、能登へ足を運んだ回数は200回近くに及びます。

県政運営への厳しい指摘を、変革の原動力に

この間、喫緊の災害対応の準備に迫られる全国の自治体からの講演依頼も多くありました。その際、能登へ復興支援から帰った職員からの報告を受けた何人もの知事、市長及び危機管理の幹部職員から厳しい指摘も受

けました。
「石川県のマネジメントは一体どうなっているんですか?」「石川県のトップと県民・職員との間に大きな乖離があるのではないですか?」
同じ職員を派遣してきていた中央省庁の幹部職員からも同様の指摘を受けました。
私には静かに聞き置くことしかできませんでした。
危機管理・防災という命に関わる問題にもかかわらず、このような声を多くいただき、石川県の将来に対して大きな不安を感じています。多くの県民の皆さまから「もう一度挑戦してほしい」という声をいただき、家族とも相談し、今回の決断にいたしました。

行政と民間の経験を武器に、石川に新しい風を

長年育てていただいた石川県のために、今の私だからこそ役に立てることができると確信しています。金沢市長3期11年の行政トップの経験、大手民間企業の経営経験。この両方を知るリーダーとして、石川に新しい風を吹き込みます。私は、目先のことしか考えないパフォーマンスや、特定の組織や一部の人の声だけを重視するような政治はいたしません。
県民一人ひとりの声に「まっすぐ」に向き合う実直な県政を実現します。

どうぞよろしく申し上げます。

まっすぐ県民目線
山野之義



県民との信頼関係を第一に、もっとスピード感のある県政を!

「まっすぐ県民目線」の会会報 VOL.07 REPORT

政策特集号

政策①

雪の日も安心。 子どもと高齢者を守る 「通学路等の優先除雪」

政策②

月定額の「習い事クーポン」 水道料金の無償化(6月まで)

政策③

兼六園・金沢城公園における インバウンド・県外客向け二重価格の設定

など、皆様から寄せられた声を参考に作成した政策集です



63年ぶりの
地元出身リーダーの
誕生を期待しています。

強み

金沢市長3期11年余、
大手民間企業での
経営・実務経験に基づく実行力

強み

誰よりも現場に多く出て、
住民に近い政治を実践
2年間で約200回能登に通っている

強み

石川県で生まれ育ち、
家族と共に暮らす

まっすぐ県民目線の会

〒921-8005 金沢市間明町2-2 きずなビル1F
massugukenminmesen@gmail.com
TEL.076-236-2267 FAX.076-236-2557

山野ゆきよし氏を 応援します!

金沢市長時代の実績 >>

いちばん大切なところから変えた!

子育て

- 子ども医療費助成を15歳まで拡充(18歳までの拡充を準備)
- 小中学校すべてにエアコン完備(特別教室含む)
- 小中学校トイレの洋式化/中学校女子トイレへの生理用品配備
- ひとり親家庭への就労支援、養育費確保に向けた支援制度の創設
- 雨の日でも遊べる屋内施設「あめらんパーク」整備



あめらんパーク

子どもたちが雪や雨の日でも安心してルンリンと遊ぶことができるという想いをこめて「あめらんパーク」と名づけました。こうした施設が県内各地に増えていけば、石川県の子どもたちはもちろん、若いお父さん・お母さんが安心して子どもを育てることができることに繋がると考えています。

目に見る成果!

暮らしの質

- まちなかWi-Fi整備
- 金沢プールの新設
- 金沢ゴーゴーカレースタジアムの新設
- 金沢市民野球場の再整備
- レンタサイクル「まちのり」設置。住民の足に



金沢ゴーゴカレースタジアム

ツエーゲン金沢の新たなホームグラウンドとして、金沢ゴーゴカレースタジアムを整備しました。観戦者だけでなく、観戦を楽しむ人、さらにはサッカーに関心のない人にも親しまれるスタジアムを目指し、市民との意見交換やクラウドファンディングを実施するなど、市民参加型のプロジェクトとして建設を進めました。

市町の枠を超えて動いた!

命・安心

- 4市2町による「石川中央都市圏」構想を主導
・ 子どもの夜間救急医療
・ 公立図書館の相互利用
・ コロナワクチンの広域接種
- 北陸初の犬猫殺処分ゼロ宣言、動物愛護管理センターの整備



子どもの夜間救急医療

夜間の急な発熱など、子どもの体調不良への不安を解消するため、近隣4市2町と連携して「金沢広域救急センター」を開設しました。年中無休で夜間診療を行う体制を整え、医師不足の課題も解決し、金沢市民はもちろん、周辺の自治体の住民も、安心して子育てができる環境を実現しました。

金沢の強みを未来につなぐ!

文化と経済

- 金沢建築館の整備
- 金沢海みらい図書館の開館
- 金沢マラソンの創設
- 都市格引き上げのため外資系ホテル(ハイアット)誘致



金沢マラソン

当初は実現を疑う声もありましたが、全国の大会を視察し、金沢らしさに徹底的にこだわって金沢マラソンを成功させました。これを契機に、金沢のまちにスポーツ文化が大きく根付いただけでなく、全国・世界に金沢の魅力を発信することができると感じています。

若者の挑戦を応援!

未来づくり

- 市民参加型の政策実行制度「まちづくりチャレンジ事業」
- 金沢未来のまち創造館
- 全日本高校生 WASHOKU グランプリ/全国学生大会
- 金沢市役所のフリーアドレス化の実現、ペーパーレス化の推進



まちづくりチャレンジ

まちづくりは市民が主役であるべきだという考えのもと、市民参加型の政策実行制度「まちづくりチャレンジ事業」を創設しました。市民の声を聞くことはもちろんのこと、NPOや町会、学生団体等から創意工夫あふれる企画を募集し、市民と行政が力を合わせた取り組みをいくつも進めました。

民間実績 >>

ソフトバンク:行政DX

現場を変える戦略と、国を動かすネットワークでDXを推進

産官の知見を融合し、DXを真の実装へと導く

ソフトバンク戦略顧問として、全国の自治体および北陸エリアの民間企業におけるDX推進に取り組みました。デジタル化に向けた戦略立案に加え、金沢市長としての実務経験を活かし、デジタルを前提とした組織運営や人材マネジメントについても助言を行っています。

全国300超の機関での講演と、首長らとの強固なネットワーク

在籍3年4カ月間で、全国300を超える自治体・大学・政府機関にて自治体DXや災害DXに関する講演を行ってまいりました。全国の知事や市区町村長と具体的な政策に関する意見交換・助言を重ねるなど、変革を後押しする幅広いネットワークを構築しています。



2023年6月18日、富山県高岡市で講演

ソフトバンク:災害対応

未曾有の災害に際し、誰よりも早く現場へ、確かな解決策を

衛星通信によるインフラ復旧と学びの継続を支援

震災直後に被災地へ入り、通信困難エリアで衛星通信サービス「スターリンク」の設置を行いました。通信の回復によりスマートフォンが再び繋がった際の、皆さんの安堵した表情は今も強く心に残っています。同年の能登半島豪雨の際にも、専門チームといち早く現地入りして通信環境の確保に奔走しました。また、学校への導入により、複数の市町でオンライン授業が実現。登校することが難しい避難先の児童・生徒と学校をリモートで結び、学びを継続できる環境を整えました。



2024年4月24日、志賀町における、ソーラーパネル付発電機及び充電機と連動したスターリンク体験デモ会

官民の知見を繋ぐハブとなり、国・県・市町の連携体制を構築

能登半島地震の発生直後、県と各市町の連携が十分に機能していない課題がありました。そこで、総務省の所管部署と直接調整を行い、国・県・市町が一体となった支援体制を構築。その結果、必要な支援を早期に現場へ届けることが可能となりました。



2024年1月21日、七尾市にて、WOTABOX(シャワー)の運営

水循環システムの導入で、被災地の衛生環境と心を守る

広範囲で断水が発生する中、関連会社による水循環型システムの手洗いシャワーを避難所や病院等に設置し、運営を支援しました。断水による感染症リスクの低減に加え、心身の衛生を保つことで被災者の皆さんのストレス軽減に寄与し、多くの感謝の声をいただきました。



リモート授業

教育現場のデジタル化を推進し、教員の負担を軽減

震災後、運動場の利用制限等により児童・生徒の運動機会が減少した課題に対し、「体力テストデジタル集計システム」を提供しました。児童一人ひとりの体力データを的確に把握することで、個別最適な指導を推進。同時に、教員の業務負担を軽減し、教育現場のデジタル化を大きく前進させました。

金沢大学客員教授

次世代への「生きた教育」でベンチャースピリットを醸成

金沢大学融合学域の客員教授として、市長としての実務経験、ソフトバンクでの民間経験、そして学生時代の起業経験を基に、年に数回の講義を実施してまいりました。また、希望する学生をソフトバンクへ招待し、幹部社員や関連会社社長との意見交換の場を設けるなど、実社会の最前線に触れる機会を通じて、学生のベンチャースピリット醸成に努めています。



2024年8月30日、金沢大学の学生さんがソフトバンク竹芝本社に視察

「信頼」と「政策」の両輪で石川県を前に進めます

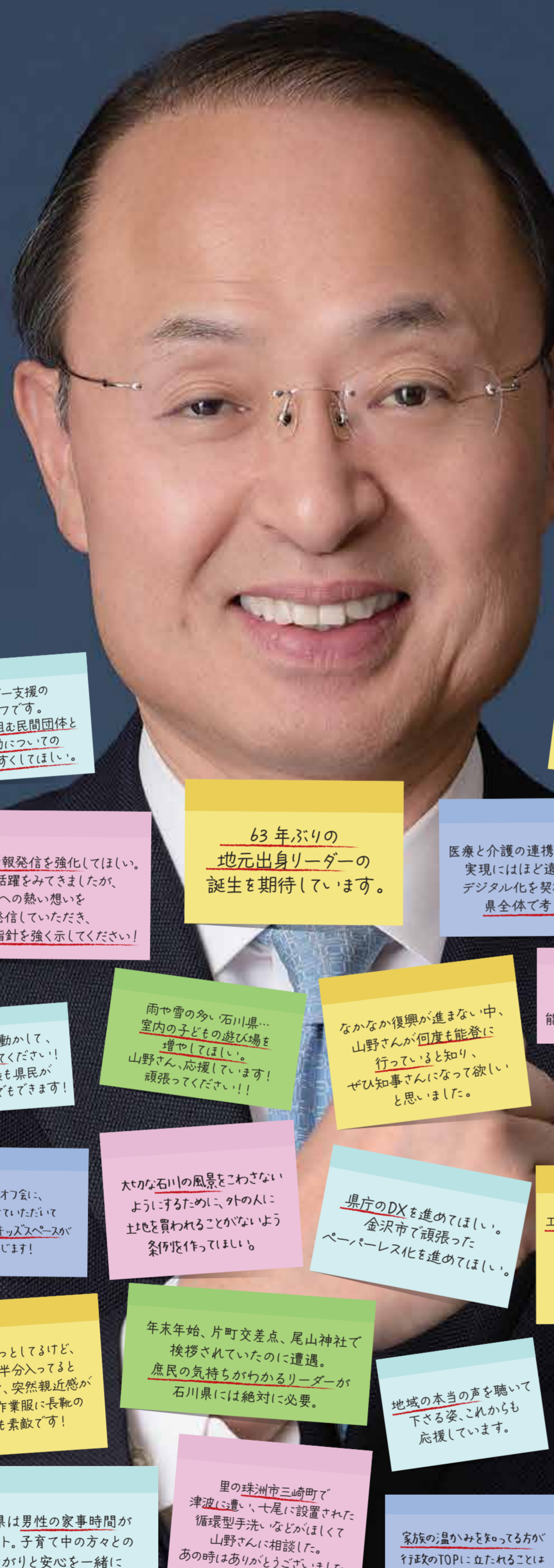
まっすぐ県民目線

山野 予ゆきよし

あなたの声を聞かせてください！
政策に生かしていきます！



公式LINE



石川県は二つも空港を持っているのですが、最大限に生かされていないと思います。

シングルマザー支援の団体スタッフです。福祉事業に取り組む民間団体と石川県の協働についての情報を入手しやすくしてほしい。

63年ぶりの地元出身リーダーの誕生を期待しています。

医療と介護の連携が叫ばれていますが、実現にはほど遠いと感じています。デジタル化を契機に、連携の強化を県全体で考えてほしいです。

子育て支援政策にひとり親世帯の意見を取り入れる仕組みを作してほしい。山野さんには本当に期待しています。どうかよろしくお願いします。

県職員と共に知恵を出し合って、県民が求める、県のために、県職員をモチベーションの上がる政策を進めてほしい。山野さんに期待しています。

県と市で連携して、備蓄の防災用品の整備をしてほしいです。

県政の透明化と情報発信を強化してほしい。山野さんのご活躍をみてきましたが、県知事への熱い想いをさっさと発信していただき、石川県の復興の指針を強く示してください！

このまま現場目線を第一に古い体質ではなく新しい石川県を作ってほしい。変革。若者を大事に！

県民の心を動かして、一つにまとめてください！復興も発展も県民がまともなものでござります！

雨や雪の多い石川県...室内の子どもの遊び場を増やしてほしい。山野さん、応援しています！頑張ってください！！

なかなか復興が進まない中、山野さんが何度も能登にいらっしゃるのを知り、ぜひ知事さんになって欲しいと思いました。

手を振ってくれたその誠実さがすべて！能登の方も照らしてください。

石川県の技術系職員が足りないのと地震のときに感じた。

金沢市長時代の全国のトップリーダーだった障害者施策も、石川県全体に広げてほしい！

ボランティアネットワークに、これも連れて来てほしい。ボランティアネットワークがあるのも希望を感じます！

大らかな石川の風景をこわさないようにするために、外の人に社を罵られることがないよう条例を作してほしい。

県庁のDXを進めてほしい。金沢市で頑張ったペーパーレス化を進めてほしい。

工芸や文化、伝統などの支援をお願いします。大好きな金沢市・石川県をさらに誇れる県にしたいです。金沢市長の頃から活躍を見ていました。志を貫いてください。

事務所開設で発表された「奥能登知事室」「南加賀知事室」は必ず実現してほしい。震災直後から能登に通過した経験が生かせる政策だと思います。

山野さんさうとうとしてるけど、能登の血が半分入るとも演説されていて、突然親近感が湧きました。作業服に長靴の山野さんも素敵です！

年末年始、片町交差点、尾山神社で挨拶されていたのに遭遇。庶民の気持ちわかるリーダーが石川県には絶対に必要。

地域の本当の声を聴いて下さる姿、これからは応援しています。

家計状況に左右されず、子どもが学びの場を選べるように、学校外の居場所に対する利用補助をつくってほしいです。山野さんのおっしゃる通りです！ぜひ色んな意見を聞いてくださると嬉しいです。

ツエーゲンのゴール裏で山野さんが応援したのを何度も拝見しました。金沢のみならず能登復興でもスポーツへの強い思いを生かしてほしい！

石川県は男性の家事時間がワースト。子育て中の方々のつながりやと安心を一緒に高めてほしい。

里の珠洲市三崎町で津波に遭い、七尾に設置された循環型手洗いなどがほしくて山野さんに相談した。あの時はありがとうございました。

家族の温かみを知ってる方が行政のTOPに立候補することは素晴らしいと思います。

石川県立図書館への公共交通機関でのアクセスを拡充してほしい。

能登復興を“現場主義”で進める

1 能登復興：「奥能登知事室」の設置

- 奥能登・南加賀に知事室を常設。知事が定期滞在し市長・町長住民事業者等と協議し課題の解決を行います
- 一次産業地域再生、災害復興など専門家(元官僚、元国会議員、NPO等)を結集します

2 交通・通信・医療の「つながる力」を立て直す

- 関西と能登を結ぶ特急「サンダーバード」を復活。和倉温泉のコミュニティ重視の復興
- スターリンクなど衛星インターネット通信を各地域に配置し、災害時・日常時ともに「必ずつながる」通信環境を実現
- 能登空港周辺での病院整備の議論に加え、奥能登4病院の機能を維持し、ドクターヘリや医療DX等を活用した七尾・金沢の医療機関との連携強化も検討
- 災害時、ペットが理由で避難をためらう人をなくします。原則同行避難を明確化し、ペット対応避難所と一時預かり体制を整備します
- 復興公営住宅の家賃3年間無償化・住宅再建支援金の活用など適した支援メニューを提供
- 能登における看護人材確保に向けた教育機関の支援充実(七尾看護専門学校等)

3 一次産業を核に“稼げる復興”を実現

- 水田再生に加え、インフラ整備コストが低く収益性の高い果樹園整備を推進し、新規就農者を県内外から呼び込む
- 輪島朝市の復活と輪島温泉の再興



物価高対策



- 月額額の「習い事クーポン」を市町と連携して実施。家計を助け、こどもへの平等な投資を行います
- 水道料金の無償化(6月まで)で家計の負担を軽減します
- 県立高校等の教育タブレットを県が全額負担



子育て・人材を支える“やさしい県政”

—奨学金返済支援とこども施策の充実—

1 すべてのこどもが、取り残されないまちへ

- こどもの屋内型遊び場を拡充
- 不登校支援については、教育委員会、民間とも連携し、保護者支援施策とも合わせて実施
- 医療的ケアが必要な児童生徒が普通学校に通えるよう、市町と連携し取り組みを強化
- スクールソーシャルワーカー、弁護士、探求学習、キャリア教育など教員だけでは対応しきれない領域をフォローするサポート組織を整備
- 雪の日もこどもが安心して通学できるよう、通学路の優先除雪を市町と連携して推進

2 人生の節目に、そっと寄り添う行政に

- 障がい・者支援を強化。在宅医療、訪問介護、福祉サービスの地域間格差の解消
- 月経・妊娠出産・更年期など、女性のライフステージに寄り添った健康推進施策の充実
- ひとり親家庭への就労支援・経済的支援の充実、養育費確保に向けた支援の拡充
- 歯と口の健康推進を通じた健康寿命の延伸



3 地元で働き続けられる仕組みの実現

- 地元就職者には奨学金返済支援制度を導入
- 看護師、保育士、介護士等医療福祉人材への奨学金返済支援制度を導入
- 高卒人材の離職率低下に向けたインターン制度の導入、企業と学校関係者の交流促進
- 転勤族の配偶者向け再就職支援(県内企業とのマッチング)による定住促進

県都金沢の誇りを守る

—暮らし・経済信頼プラン—

1 観光・交流で稼ぐ金沢

- 兼六園・金沢城公園におけるインバウンド・県外客向け二重価格の設定
- 金沢港におけるクルーズ船誘致・賑わい創出(クルーズターミナル活用)
- 滞在時間の増加に向けた夜の観光・にぎわい創出(兼六園・金沢城・金沢港等)
- トップセールスによる修学旅行の誘致

2 “金沢らしさ”にこだわるまちづくり

- 金沢市中心部の開発において、石川の玄関口として石川らしさ・金沢らしさを重視
- 自動運転バス導入やバス路線維持による移動の確保
- 旧知事官舎を茶道・華道の活動拠点とし、周辺文化施設との回遊性を向上
- 県内プロスポーツチームの歴史を尊重しつつ、競技横断の連携を推進

3 稼ぐ力を生み出す、次世代産業・行政改革

- AI時代を見据え、郊外にデータセンターの誘致を進めます。高等教育機関と先端企業が集積する強みを生かし、人材・企業・研究機関の連携を深め、産業基盤の強化と持続的な成長、雇用創出につなげます
- 担い手不足に対応するDX・省力化、そして「事業承継(M&A)」まで一体で支援し、金沢発のイノベーションを生み出します
- 単発の補助金ではなく、中長期的に伴走支援するため、民間と連携した石川県スタートアップ支援ファンドを組成します。企業への投資と伴走支援により、地域課題解決とイノベーション創出を両立します
- 既存のインキュベーション施設等を拠点に、実証実験や規制対応を一體的に支援する行政窓口を設置します

4 県民の声と暮らしを守る、信頼の県政

- 3年近く開催されていない知事定例記者会見の再開
- 企業や行政などあらゆる場面におけるセクハラ・カスハラ対策の強化
- 市町と連携した町会活動、防災、福祉見守りなど地域コミュニティの強化
- 市町間の広域連携(行政事務・公共施設・防災等)の推進
- 自然環境や地域の暮らしを損なうメガソーラーの整備に反対

まっすぐ政策
政策を動画で見る

